

小・中・高等学校等における起業体験推進事業事例 「はまっ子未来カンパニープロジェクト」 横浜市教育委員会

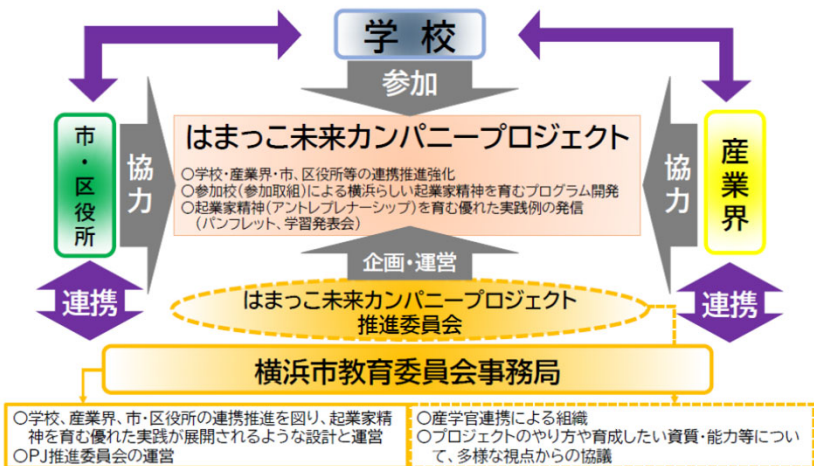
取組概要

「はまっ子未来カンパニープロジェクト」は、企業・行政・地域等の方々と横浜の児童生徒が連携・協働し、「社会・地域課題の解決」に取り組む学習を行う中で、児童生徒の社会参画に対する意識を高める「自分づくり（キャリア）教育」の事業として、平成28年度から実施し、令和7年度で10年目の取組です。

【目的】地域社会や企業等と連携した教育活動を通して、次の資質・能力を育成し、各校の教育課程における「自分づくり（キャリア）教育」の充実を図る。

- ・「チャレンジ精神・実行力・協働性・創造性・リーダーシップ」（起業家精神に係る資質・能力）
- ・自分自身も持続可能な社会の創り手であることに気付き、社会参画しようとする態度

モデルの構築



- ・教育委員会が有識者で構成する推進委員会から助言をもらいながら、企画・運営。
- ・有識者には、産業界、市長部局、大学等の方が入っており、実施にあたっては、学校、産業界、市長部局とが連携して推進。

〈参加体制〉

【通常事業】

- ・学年・学級を単位として参加申請。

【企業等提案型事業】

- ・行政（市庁他部局）・民間企業等から提案された、社会課題・地域課題の解決の事業の中から、各学校（学級・学年単位）が選択して申請。

〈参加に際して〉

- 【通常事業】【企業等提案型事業】を選び、申請する。（5月）
- 申請前事業説明会、事業説明会の開催。（5月・6月）
- 実施計画書と予算計画書（「通常事業のみ」）を提出する。（6月）
- 実施の過程では、指導主事等による視察に協力する。（通年）
- 担当者情報交換会、中間期児童生徒交流会の開催。（10月～12月）
- 実施報告書を学校経営支援課に提出する。（2月）
- 児童生徒の意識の変容や教師の指導に関する意識を調査するためのアンケートに協力する。（児童生徒は6月と2月の2回、教師は2月の1回を予定）
- 2月に行われる学習発表会（午前午後の2回開催）に参加する。児童生徒による学習発表等を通して、互いの活動を知ったり、自分たちの活動を振り返ったりする。

普及するための取組

- 本プロジェクトを広く市民に知ってもらうため、取組についてHPや広報誌等、メディア媒体等を活用し、様々な機会を通じて発信する。
- 2月開催の学習発表会を、市役所1階で行い、広く市民の方が参観できるようにする。
- パンフレット（実施報告書）を作成し、学校、連携機関、市民向けに今年度の取組内容や成果を発信する。

本事業による成果

〈児童生徒アンケートより（3月実施分）〉

- 「地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。」

	全国	横浜市	本事業参加児童生徒
小学校	81.3%	83.9%	86.6%
中学校	75.3%	76.7%	82.4%

〈教員アンケート（3月実施）〉

- 子どもにどのような資質・能力が身に付きましたか。

どうすれば、自分たちの目的が達成できるのか試行錯誤を繰り返す姿が見られた。

協働することで新たなものを創れるという楽しさやワクワクを感じる姿がみられた。